

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵文無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ふことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っております。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。(釋友啓)

未 性 愛 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ふことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時から突
 き始めます。

修正会

しゅうしやうえ
 元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ (淡紅) が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ふことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っております。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過することでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す！
 年でもいいのかな？



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いていますでしたが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言うことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。(釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵文無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いていますでしたが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言うことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクそんで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵文無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いていますでしたが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言うことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。(釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵文無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道(伊勢神宮)と仏教(西本願寺)が選定されました。日程都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁寧に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ったことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ!」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日(秋分の日)

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告(の)りを実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。(住職)



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過することでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二一日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二一日のお参りをお願いいたしました。そして、二一日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ (淡紅) が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵文無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道(伊勢神宮)と仏教(西本願寺)が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言うことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ!」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日(秋分の日)

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告(の)りを実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。(住職)



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未 性 愛 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵文無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ったことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵文無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言うことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ふことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（の）りを実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過することでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。(釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵文無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道(伊勢神宮)と仏教(西本願寺)が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穰です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ふことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ!」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日(秋分の日)

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告(の)りを実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っております。(住職)



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ったことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。(釋友啓)

未 性 愛 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の□に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵文無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ったことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ったことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいらいらが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過することでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ (淡紅) が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ったことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいらいらが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ふことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っております。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二一日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二一日のお参りをお願いいたしました。そして、二一日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号
発行 = 真宗
大谷派得源寺
住職大橋友啓
☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵文無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言うことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいらいらが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。(釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵文無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ったことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。(釋友啓)

未 性 愛 能

今号も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

今号の脳トレ

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵文無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ふことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過することでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未 性 愛 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穰です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ったことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を實踐するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ (淡紅) が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ふことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいらいらが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過することでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。(釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ふことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ (淡紅) が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵文無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ふことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ (淡紅) が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未 性 愛 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ふことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいらいらが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っております。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。(釋友啓)

未 性 愛 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵文無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ったことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
ほうおんこういんじょうえ
報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
から二六日(水)
両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
午後二時から
ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
午後一時頃から突
き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。(釋友啓)

未
性
愛
能

今号の脳トレ
今回も、十字クロスに挑戦してください。
真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵文無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言うことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいらいらが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過することでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。(釋友啓)

未 性 愛 能

今号の脳トレ
 今号も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いていますでしたが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言うことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいらいらが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未 性 愛 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵文無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁寧に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ったことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過することでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵文無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ったことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいらいらが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過することでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。(釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ふことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過することでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁寧に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ったことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過することでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ふことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す！
 年でもいいのかな？



仏旗について



メノウ (淡紅) が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵文無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道(伊勢神宮)と仏教(西本願寺)が選定されました。日程都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁寧に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穰です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ったことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ!」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日(秋分の日)

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告(の)りを実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。(住職)



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いていますでしたが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言うことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいらいらが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を實踐するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過することでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す！
 年でもいいのかな？



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。(釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ったことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二一日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二一日のお参りをお願いいたしました。そして、二一日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵文無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ったことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいらいらが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時から突
 き始めます。

修正会

しゅうしやうえ
 元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ (淡紅) が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未 性 愛 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号
発行 = 真宗
大谷派得源寺
住職大橋友啓
☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道(伊勢神宮)と仏教(西本願寺)が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁寧に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ったことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ!」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日(秋分の日)に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告(の)りを実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。(住職)



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。(釋友啓)

未 性 愛 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁寧に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ったことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいらいらが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過することでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二一日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二一日のお参りをお願いいたしました。そして、二一日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。(釋友啓)

未 性 愛 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵文無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いていたが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言うことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二一日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二一日のお参りをお願いいたしました。そして、二一日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。(釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵文無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道(伊勢神宮)と仏教(西本願寺)が選定されました。日程都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁寧に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ったことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ!」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日(秋分の日)

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告(の)りを実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。(住職)



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ったことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいらいらが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。(釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵文無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ったことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいらいらが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過することでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す！
 年でもいいのかな？



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未 性 愛 能

今号も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

今号の脳トレ

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ふことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っております。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。(釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵文無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ふことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいらいらが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ (淡紅) が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなさるのでしかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ふことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいらいらが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ (淡紅) が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未 性 愛 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵文無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道(伊勢神宮)と仏教(西本願寺)が選定されました。日程都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁寧に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ったことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ!」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日(秋分の日)

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告(の)りを実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。(住職)



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二一日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二一日のお参りをお願いいたしました。そして、二一日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。(釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いていますでしたが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ふことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ (淡紅) が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号
発行 = 真宗
大谷派得源寺
住職大橋友啓
☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵文無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道(伊勢神宮)と仏教(西本願寺)が選定されました。日程都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穰です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ったことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ!」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日(秋分の日)に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告(の)りを実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。(住職)



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過することでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す！
 年でもいいのかな？



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未 性 愛 能

今号も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

今号の脳トレ

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵文無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いていますでしたが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言うことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。(釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵文無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道(伊勢神宮)と仏教(西本願寺)が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言うことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクそんで「コク葬だ!」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日(秋分の日)

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告(の)りを実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。(住職)



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過することでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。(釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ったことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいらいらが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時から突
 き始めます。

修正会

しゅうしやうえ
 元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二一日のみのお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二一日のお参りをお願いいたしました。そして、二一日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵文無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ふことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を實踐するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っております。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未 性 愛 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵文無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いていますでしたが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言うことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す！
 年でもいいのかな？



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言うことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過することでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ (淡紅) が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ふことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ (淡紅) が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ったことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいらいらが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一時頃から突
 き始めます。

修正会

しゅうしんかい
 元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過することでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ (淡紅) が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号
発行 = 真宗
大谷派得源寺
住職大橋友啓
☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁寧に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ったことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいらいらが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。(釋友啓)

未 性 愛 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言うことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過することでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。(釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵文無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ふことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未 性 愛 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ふことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいらいらが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っております。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ふことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいらいらが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っております。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ (淡紅) が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ったことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。(釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ふことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っております。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。(釋友啓)

未 性 愛 能

今号も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

今号の脳トレ

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いていますでしたが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ふことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時から突
 き始めます。

修正会

しゅうしやうえ
 元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す！
 年でもいいのかな？



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ふことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過することでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ (淡紅) が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵文無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いていますでしたが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ふことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクそんで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二一日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二一日のお参りをお願いいたしました。そして、二一日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。(釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言うことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。(釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵文無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道(伊勢神宮)と仏教(西本願寺)が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穰です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言うことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ!」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日(秋分の日)

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告(の)りを実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。(住職)



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時から突
 き始めます。

修正会

しゅうしやうえ
 元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過することでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す！
 年でもいいのかな？



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ったことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ (淡紅) が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵文無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道(伊勢神宮)と仏教(西本願寺)が選定されました。日程都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁寧に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ふことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ!」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日(秋分の日)

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告(の)りを実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。(住職)



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。(釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いていますでしたが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言うことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいらいらが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す！
 年でもいいのかな？



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ったことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二一日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二一日のお参りをお願いいたしました。そして、二一日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未 性 愛 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵文無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ふことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っております。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。(釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いていますでしたが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言うことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいらいらが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を實踐するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過することでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。(釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号
発行 = 真宗
大谷派得源寺
住職大橋友啓
☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道(伊勢神宮)と仏教(西本願寺)が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁寧に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ふことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ!」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいらいらが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日(秋分の日)

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告(の)りを実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っております。(住職)



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二一日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二一日のお参りをお願いいたしました。そして、二一日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵文無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ふことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っております。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過することでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。(釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道(伊勢神宮)と仏教(西本願寺)が選定されました。日程都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ったことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならばのお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ!」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいらいらが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日(秋分の日)

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告(の)りを実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。(住職)



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。(釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ふことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過することでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ふことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。(釋友啓)

未 性 愛 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ふことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいらいらが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っております。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時から突
 き始めます。

修正会

しゅうしやうえ
 元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵文無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道(伊勢神宮)と仏教(西本願寺)が選定されました。日程都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁寧に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ったことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ!」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日(秋分の日)

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告(の)りを実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。(住職)



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ふことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を實踐するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っております。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二一日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二一日のお参りをお願いいたしました。そして、二一日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。(釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ふことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二一日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二一日のお参りをお願いいたしました。そして、二一日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵文無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道(伊勢神宮)と仏教(西本願寺)が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言うことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ!」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日(秋分の日)

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告(の)りを実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。(住職)



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一時頃から突
 き始めます。

修正会

しゅうしやうえ
 元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過することでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す！
 年でもいいのかな？



仏旗について



メノウ (淡紅) が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未 性 愛 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵文無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言うことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいらいらが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月

ほうおんこういんじょうえ
報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
から二六日(水)
両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
午後二時から
ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
午後一〜一時から突
き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。(釋友啓)

未
性
愛
能

今号の脳トレ
今回も、十字クロスに挑戦してください。
真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁寧に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ふことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならばのお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいらいらが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過することでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。(釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いていますでしたが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言うことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいらいらが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ふことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時頃から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意しておはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す！
 年でもいいのかな？



仏旗について



メノウ (淡紅) が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。
 (釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。

寺報 得源寺



第12号

発行 = 真宗

大谷派得源寺

住職大橋友啓

☎0767-68-2096

英国女王の訃報に接し

住職 大橋友啓

五〇年来のボーイスカウトの大先輩から、クイーンエリザベスの訃報に接してあるエピソードを思い出した。と言って、『兵丈無用』大分勇著「法蔵館」刊という書籍の一部をコピーしたものが送られてきた。内容は、次の通りです。

それは、一九七五年五月、英国のエリザベス女王夫妻が来日された時の話です。

日本の代表的な宗教施設を訪れたいという要望がありましたので、神道（伊勢神宮）と仏教（西本願寺）が選定されました。日程の都合で、午前中には西本願寺を訪れ、午後は伊勢神宮を訪問されました。翌日の新聞の第一面に「英女王ご夫妻伊勢をご訪問」の見出しで報

道されました。

神宮の秘書部長に案内されたご夫妻が、内玉垣南門の敷居際まで進まれたとき、ここからは、天皇・皇后陛下だけしか入れませんので、と丁重に断られました。ご夫妻は不審に思いながら、ここでは何を祈りなされるのですかと尋ねられますと、部長は「皇室の繁栄と国家の安全と五穀豊穡です」と説明されると、ご夫妻はさりげなくあたりを見まわしながら正殿に礼拝することもなく引き返されたそうです。

何故拝礼をされずに去られたか、神宮側でも失礼なと後で話題になったそうです。

「本願寺新報」一九七五年七月一〇日号より

それに比べて、西本願寺の阿弥陀堂では、直接案内された大谷光勝前門主が「人間が祈願するのでなく、阿弥陀仏が先手をかけて、十方の生きとし生けるものを必ず救うと誓われているのです」と説

明されますと、深々と礼拝されて、ご門主と歓談して、西本願寺を退出されたそうです。

コピーは、もう少し続いています。ですが、何よりも英国女王の訃報から、この文章が書かれていた「書籍」を思い出したと言ふことに驚いたというか感心したことです。

日頃から、「神道は宗教じゃない」という持論の持ち主ならではお便りで、今年の五月に自坊の住職を息子さんに譲られましたが、筆まめなところは相変わらず芽えていて、事ある毎に届くお便りに、いつも私は元気をいただいています。

九月は、様々な「国葬」が報道されて来ましたが、先月二七日に行われた日本の「国葬」は、モリ、カケ、サクラ：など、国会で一八回も嘘をこいてきた政治家は、死んでも嘘をコクソウで「コク葬だ！」というコメントもお便りに添えられています。

最近の、うさんくさい宗教話に少しいライラが募っておられるようです。

帰敬式

九月二三日（秋分の日）

に得源寺本堂で「帰敬式」を行いました。帰敬式は、真宗門徒にとって大事な儀式です。

従来、門徒というのは「我が家は昔からだ」とか「代々そうだった」といった家の宗教でした。それを新しく個の宗教ととらえて一人ひとりの意思で真宗門徒の名告（のり）を実践するのが帰敬式です。

今回は一九名の受式がありました。今後、希望があれば、拙寺の報恩講などで執行していきたいと思っています。（住職）



お知らせ!!

二〇二二年一〇月〜二〇二三年一月
 ほうおんこういんじょうえ
 報恩講引上会



とき 一〇月二五(火)
 から二六日(水)
 両日とも午後二時お始まり

お磨きのひょうし

報恩講に当たって、恒例の仏具磨きを行います。年齢や性別は問いません。ご協力いただける方はどなたでも歓迎します。

とき 一〇月一五日(土)
 午後二時から
 ところ 得源寺本堂

除夜の鐘

とき 一二月三一日大晦日
 午後一〜一時から突
 き始めます。

修正会

元日早朝六時から年の初めのお勤めがあり、法要に続いて庫裏で任職が年賀を受けます。

台風と秋の祠堂経会

今年の秋季祠堂経会は、台風に御弄されたお参りでした。

当初、一九・二〇・二二日の三日間を予定していましたが一七日の天気予報では、一九日のお始まり頃から風が吹き始め二〇日には寺の真上を通過するとのことでしたので、小松からお越し頂く布教使さんには二二日のみをお願いをし、総代さんや気の付いた常連さんにも連絡をしたつもりでした。

しかし、一九日には一〇人ものお参りがあり、急遽私の自語りで急場をしのぎ、二〇日にも数人お越しいただいたのですが、二二日のお参りをお願いいたしました。そして、二二日の満座には三〇人ものお参りがあり用意していたおはぎが足りず、てんやわんやでしたが、久しぶりに正信偈を唱和する大きな声が本堂に響き流れる「彼岸の祠堂経会」となりました。

週

前回の答えで〜す!
 年でもいいのかな?



仏旗について



メノウ(淡紅)が紫色のものもある。

法要のときなどに掲げられる仏旗は、お釈迦様が二月一五日の入涅槃時に放たれた、青、黄、赤、白、メノウ、ハリの光によるもので、ハリは無色透明であるために、白では表現できず、五種混色で表しています。

その由来は、米国のヘンリー・オルコットがスリランカ島に渡り、仏教徒のシンボルとして創案。日本では、一八八九年のH・オルコット来日後に使われることになったようです。

いずれも、東西南北上下のあらゆる方向を平等に照護し救済してくださる仏の大きなはたらきを表してくれているのです。(釋友啓)

未
 性
 愛
 能

今号の脳トレ
 今回も、十字クロスに挑戦してください。
 真ん中の口に文字を入れてください。

答えは次号です。